

# Harumi Express

～晴海総合高等学校 保護者と教職員の会だより～



《第8回常任委員会報告》開催日 2022年1月15日(土)

発行日:令和4年1月吉日  
発行者:東京都立晴海総合高等学校  
保護者と教職の会会長 長野 純二

## PTA 会長の挨拶

お疲れ様です。そろそろ来年度の話になりますが、各委員の活動について GOOGLE のホルダーに各々のものを作ります。広報のものは入りきらないと思われるため別に作ります。今後の ZOOM 会議の設定は考えていない為、基本的に来校になります(緊急事態宣言が発動されれば別です)。よろしくお願い致します。

## 校長先生のご挨拶

明けましておめでとうございます。いつもより長い冬休みが経て、元気な生徒たちが学校に戻ってきました。

本校の令和4年度入学者選抜志望予定者数が 1.33 倍(志望予定者数 367 名、募集人員 276 名)となりました。過去 5 年間 1 倍を切っていましたので、嬉しく、皆様のご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年は、コロナ禍で東京五輪が開催され、ひたむきな選手の活躍に胸を打たれました。彼らは明確に目的と、その達成に試行錯誤を繰り返し、やり遂げる強い意志と力があります。時代が変わろうとも、未来を生きる私たちに必要な資質の一つであると言えるでしょう。私が生徒に言っている、振り返り、グリッドです。言い換えれば、選手は、目的=結論「金メダル・表彰台」を目指し、そのために何をすべきか=仮説「練習の工夫・改善、試合で実践、練習の改良、試合での見直し」の繰り返しを行っています。その根底には、できない理由を探すのではなく、どうしたらできるのかを熟慮しています。自分の信念を守って、どんな障害にも屈服しない強い意気。「気骨」があるのです。

さて、昨年の学校や社会の動向は、どうであったか振り返ってみます。コロナにおいても学校は学びをとめない、社会は経済をとめない。それは、SDGsの実現や CO2 を増加させず、CO2 排出量の収支は実質ゼロにするカーボンニュートラルの推進など、地球規模で取り組むべき事柄への実践や、災害や感染症などに対応できる高度な「回復力」持続可能な社会を構築する年でした。今年は加速する年です。加速する原動力は、なにか？今年いや今後10年後見通すと、デジタル技術が上げられます。デジタル技術を推し進める人材、人工知能(AI)やビッグデータの解析に長けた人材育成を中核としながら、地域医療や企業や学校での教育分野で活躍する人材育成、新たな産業創出を担うハブ的な人材、今以上に、思いもつかない付加価値をつけることができる人材が求められています。

日本は資源のない国です。これからも科学技術立国として、進むことを考えると、「新しい価値の創造」、「創造をしないことを創造する」基盤となる「STEAM教育」が重視されるのが分かります。

Society5.0 では、AI(人工知能)とデータの活用によって課題を解決し、新たな価値を創造する能力を求めています。STEAM教育と情報教育の推進を通して課題発見・解決能力を有し、新たな価値を創造できる人材を経団連・経済同友会などの経済界、国が教育改革に積極的に関わっています。

日本は人口が減り続け、日本の文化・習慣だけでは、新しい価値の創造は難しく、世界の人々と共に考える・生きる「共生」「協働」をすることが進みます。性別・年齢・国籍などの「属性」の多様性と価値観やライフスタイルなどの「思考」の多様性を受け入れ、「共生」「協働」することです。私は、LGBTQ(性的マイノリティー)を意識しています。多様性が高まることで、人や価値観の新たなコラボレーションが生まれ、新しいイノベーションが期待されるからです。

それを教育界では、「主体的・対話的で深い学び」で培います。生徒は、本校の6つの系列・地域・親族・友人から学んだ知識などをつなげ、ネットワーク化する教科横断的学習を進め、科目「課題研究」で実践しています。一つひとつの知識をバラバラに存在するのではなく、それぞれが関連付いて結びつけ、新しいものを作り上げています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、先行きが不透明です。将来の予測が困難な状態VUCA(ブーカ)の時代に生きるには、経験とスキル・資格・そして知識を、総合的にまとめ知恵として活用する行動力を求められています。まずは、100%ではないが、「納得」できる解を導き出し実行することです。自ら問と仮説を立て、解を導き出す力が必要であることを新型コロナウイルスの流行は教えてくれました。

教職員一同、10年後を見据え、不透明で、急速な社会の変化に対応できる人材育成を進めて参ります。今後とも皆様のご支援、ご協力の程、お願い致します。

## 副校長先生のご挨拶

本日はお寒い中お越しいただきありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年早々、オミクロン株が猛威を振っており、年明けから本校生徒の陽性者数も15名となっております。ただ、毎日のマスク、黙食慣行のおかげで、濃厚接触者は数名と非常に少なく、クラスターには至っておりません。今後も平常時程を続け、学校生活との両立を図ってまいります。ただし、いつ都教委から一斉オンライン授業の方針が届くかわかりません。その際は、ご家庭での準備をよろしくお願いいたします。

さて、すでにお知らせしたとおり、2年次の修学旅行が延期という判断となりました。コロナ禍での行事は中止ではなく、延期や代替を基本に、創意工夫する予定です。卒業式も、今のところ歌唱と来賓の割愛以外には特に問題なく進めています。ぜひ24期生の門出を祝う素晴らしい日を迎えたいと存じます。

最後になりましたが、1月22日(土)の1,2年次進路保護者会は、まん延防止等重点措置が出て実施の予定です。その後の茶話会(飲食なし)とともに、皆様のご来校をお待ちしています。

(1/15 現在)

## 委員会活動報告

活動期間:2021年12月11日~2022年1月15日

- |          |  |
|----------|--|
| 【本部】     | 1月15日本部会、常任委員会<br>新入生への案内資料作成。印刷、袋詰め。<br>来年度、本部体制について話し合い。                                     |
| 【3年次委員会】 | 1月15日常任委員会出席<br>引継ぎ資料作成準備  |
| 【卒隊委員会】  | 記念品納品日時確認<br>引継ぎ資料作成準備   |
| 【2年次委員会】 | 12月11日常任委員会出席<br>茶話会について 当日スケジュール、担当、振り分け確認  |
| 【1年次委員会】 | 12月11日常任委員会出席<br>常任委員会後、参加人数を集計。お菓子の発注数について、主任の先生にご意見を伺いながら<br>予備数など話し合い、決定。<br>一年次委員の茶話会出欠を確認 |
| 【広報委員会】  | 12月18日成果発表会取材<br>12月22日課題研究発表会取材<br>1月15日広報誌73号制作 業者と打ち合わせ<br>次回広報誌は2月末配布予定                    |
| 【研修委員会】  | 12月11日常任委員会出席<br>1月15日 SDGsセミナー開催 11時 ~ ZOOM<br>講師 慶應義塾大学大学院特任教授の高木超先生<br>1月15日常任委員会出席         |

## 今後の予定

次回常任委員会は 2/26 (土) 13:00~ です。